

会 議 録

◇詳細—企画調整グループ 電話03-4566-2511

附属機関又は 会議体の名称		平成30年度 第1回総合教育会議
事務局(担当課)		政策経営部企画課
開催日時		平成30年6月14日(水) 16時30分～17時30分
開催場所		教育委員会室(本庁舎8階)
案件		平成30年度教育大綱の決定について
公開の 可否	会議	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
	会議録	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委員	高野区長・三田教育長・樋口教育長職務代理者・北川委員・白倉委員・藤原委員
	事務局	政策経営部長・教育部長・企画課長・庶務課長・学務課長・放課後対策課長・学校施設課長・指導課長・教育センター所長・統括指導主事・企画課企画調整グループ・庶務課庶務グループ、教育政策担当

○企画課長

豊島区総合教育会議を始めさせていただきます。本日の傍聴者は1名でございます。初めに、本年度第1回の会議でございますので、総合教育会議の委員の皆様をご紹介させていただきます。

<委員及び事務局職員を順次紹介>

○企画課長

それでは、議事進行につきましては、会長の高野区長よりお願いいたします。

○高野区長

本日は各委員におかれましては大変お忙しい中、総合教育会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

今、豊島区は激動といってもいいくらい、日々変化に富んだ動きをしております。昨日は練馬区の文化センターにて、全校の小学校6年生と一緒に劇団四季のミュージカルを鑑賞させていただきました。大変素晴らしいミュージカルであり感動いたしました。

そして、夜には富士見台小学校にて蛍鑑賞をいたしました。大都会の中で蛍を直に見ることができ、小学校5年生の子供たちが来場者の方々に蛍についてのお話をしております、私も聞かせていただきました。蛍についてはあまり知らなかったのですが、詳しく説明してもらい、子供たちが目を輝かせて説明している姿に非常に感動いたしました。

その次に、南池袋小学校を中心としたすすきみみずくの保存会の総会に参加させていただきました。南池袋小学校の中村校長先生以下、新しく入られた教員の方もいらしており、和気あいあいとした雰囲気のなか、すすきみみずくづくりという形の中で、まさに郷土感覚を育てていくという一日でした。子供を中心にしながら、このような取組ができることが優れており、素晴らしい実践教育を推進しているなということを感じました。

また、先程は生活安全協議会とセーフコミュニティ推進協議会の中で、インターナショナルセーフスクールの報告も行われ、警察・消防をはじめ150人を超える様々な関係団体、また校長会の会長にも列席いただきました。来年の東アジア文化都市を開催するにあたり、外国の方が大勢来ると想定される中で外国人対策は一体どうなっているのかというような質問や、高齢者の安全安心や健康づくりに子供たちの取り組んでいる健康体操が結びつけられないかという話や、民泊の問題等、大変身近な課題が取り上げられ、皆で情報を共有し、これに対してまさにオール豊島で関わっていく取組を日々しております。こうしたことを改めて考えた時に、やはり子供を中心に進んでいることが大変素晴らしいと思います。将来のために我々もこれらの施策をしっかりと進めていかななくてはならないという思いを強くいたしました。

いよいよ来年は東アジア文化都市開催ということで、「私は未来」という曲を今日の会合の前後に流しました。大変いい曲であり、1番が日本語、2番が中国語、3番が韓国語となっております。学校でも外国語の連携として大きな教育の一環になるものと思っております。

す。今までは政令指定都市が日本を代表してやっているものを、この豊島区が開催するということで、まさに総力を挙げ、やはり子供たちを中心にした取り組みにしていきたいと思っております。

本日の議題は平成30年度豊島区教育大綱の決定についてでございます。始めに庶務課長からご説明をさせていただきます、その後に教育委員の皆様からご意見を賜り、今年度の教育大綱を決定したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○庶務課長

それでは教育大綱（案）につきましてご説明を申し上げます。なお、3月に開催いたしました総合教育会議におきまして、教育の重点施策については既に協議をいただいたところでございます。今回の教育大綱の説明に際してはそれを踏まえまして、重点施策から変更のあった箇所につきましてご説明いたします。

まず2ページでございますが、平成30年度の重点施策一覧を掲げております。このうち、最後の7番目に教職員の働き方改革を掲げております。こちらは新たな項目でございますので、昨年度までは6項目でございましたが、平成30年度の教育大綱につきましては7項目の重点施策となっております。それでは変更箇所についてご説明を申し上げます。

9ページまでお進みいただきまして、「重点施策Ⅲ 幼児教育の充実」でございます。このうち、「(2) 教育と保育の一体的提供」のうち目的の部分について変更を加えております。

「保育需要が増大する中、量はもとより質の充実も求められている。就学前の子供たちに質の高い教育と保育を一体的に提供するため、区立幼稚園の認定こども園化や組織再編成等について検討を行う」ということで一步踏み込んだ表現にしております。

10ページでございます。「重点施策Ⅳ 国際社会に生きる人材の育成」の目的に、先程高野区長からも発言がありましてとおり、冒頭の部分に文言を加えたものでございます。『国際アートカルチャー都市』を目指す本区においては東アジア文化都市2019豊島および東京オリンピック・パラリンピック大会に向け、各学校が4つのテーマを4つのアクションで学び、様々なプログラムやプロジェクトを展開して2020年以降に定着していくレガシー（教育の遺産）を形成する」ということで、文化について冒頭に触れております。

15ページの「重点施策Ⅴ 安全安心な学校づくり」の項目の中で「(2) コミュニティスクールの導入」についてでございます。目的の欄につきましては大きく変更は加えておりませんが、事業内容の部分について変更しております。「これまでのインターナショナルセーフスクールとの共通点も踏まえ、学校経営の最高責任者である校長を支え、地域が一体となって学校を応援するコミュニティ・スクールシステム構築について検討する」という内容にしております。今年度新たにコミュニティ・スクールシステムの構築について具体的な検討を始めたいと考えております。

19ページでは、今回新たな項目として「教職員の働き方改革」を加えております。「豊島区学校における働き方改革推進プランの策定」ということで、国及び東京都では、学校における教員の働き方改革について様々な議論が始まっているところでございますが、この4月から各区市町村においても学校における働き方改革プランの策定が求められていると

ころであります。これによりまして、本区におきましても今年度、「豊島区学校における働き方改革推進プラン」を策定して参りたいと考えております。

内容についての説明は以上でございます。

○高野区長

ただいま事務局より平成30年度の教育大綱について説明をいたしました。各委員の皆様からご意見をいただきたいと思います。樋口教育長職務代理者からお願いいたします。

○樋口教育長職務代理者

よろしくお願いいたします。今年度もこうして高野区長はじめ、区長部局の皆様と教育委員会とで、どのように豊島区の子供たちの健全育成に関わっていくかということの共通理解をする場が第一回でいただけますことを心から嬉しく思っております。本当にありがとうございます。私からは3点お話をさせていただきます。

1点目は全体のところでございます。この教育大綱を読みますと、その目的だけではなく、この目的を具現化するための事業内容、具体的な施策が練られているのでとても分かりやすいです。したがって、今年はどのことが中心になっていけばいいのかが学校も読み取れる非常に具体的なものになっていると思います。先程区長が、豊島区は子供を中心に、子供が元気で輝くために、とおっしゃってくださいました。そのために何をするのかというところを、私たち行政と学校とそして区民とが同じ土俵に立って推進していけるものと確信しておりますし、私もそのために努力したいと思っております。

2点目は少し具体的なお話をさせていただきます。まず、「重点施策Ⅱ 健やかな心と体の育成」の6ページにあたりますが、今年度より小学校において「特別の教科 道徳」が取り入れられており、それぞれの学校では工夫をして道徳の授業に取り組んでいることと思います。これまでも豊島区では、こころの内面を見つめて自分がこれでいいのかな、どんな風に生きたらいいのかなということを子供たちが深く考える授業をしておりましたけれども、それが今度は教科書という教材を基にしながら、さらにしっかりと自分を見つめることができるようになると思います。評価のことばかりが先行しているように思うのですが、私は指導があってこそその評価だと思っておりますので、先生方が、この教科化を契機として、子供が主体的に考え自分の生き方を見つめるためにどうしていくのかという道徳の授業をつくるような方向を、区を挙げて推進して欲しいと思った次第でございます。

3点目は「重点施策Ⅳ 国際社会に生きる人材の育成」でございます。とりわけ10ページからはじまる「東京2020オリンピック・パラリンピック教育の推進」の項目にあります。先程お話があったようにアジアの中の大事な日本、大事な豊島区というところを子供たちが感じられるような施策が展開できればと思うところです。繰り返しになりますが、これから子供たちが大人になる社会は、色々な国の人と様々な協議を重ねながら、行き先の見えない不透明な時代の中で打開策を持っていかなければなりません。そのためには、やはり対話的で、共働的な態度、そして寛容な心というもの、また、自立的に進める態度なども必要になろうかと思います。そうしたものを、競技に触れるだけでなく、その根底に流れている文

化ですとか考え方とかを子供たちが感じられるようなものにしていきたいと思います。したがって、これまで取り組んでいるふるさと学習をさらにここにリンクさせて、自分の生まれ育ったふるさと豊島から発しての国際理解教育が進めばありがたいなと思ったところでございます。

○高野区長

ありがとうございます。それでは北川委員にお願いいたします。

○北川委員

どうぞよろしくお願いいたします。今回この豊島区教育大綱を見直すにあたり、つい先日、今年の3月ですが、豊島区の子供若者未来応援あり方検討会の報告書ができましたので、そちらにも目を通しました。そこには豊島区の子供たちがどのような状況におかれているのかという調査の結果が色々なデータとしてまとめてあり、私が思いましたのは、豊島区で色々困っているという子供たち・ご家庭というのは想像以上にあるということでした。各家庭で子供にこういうことをしてあげたかったけど金銭的または時間の余裕でできなかったということで大きくあがっていたのが、塾に通わせてあげたいというような学習面と、子供との家族そろっての旅行、色々な体験をさせてあげたい、そういうところが親としてやってあげたかったけどできなかった、というような意見でした。今回、放課後対策事業として、豊島区では学習の支援とか地域の方を招いての色々な体験というものを展開しております。各家庭でできなかった部分を、豊島区として少しでも補ってあげられるような放課後対策になっているのではないかなと報告書を見て実感いたしました。

また、子供たちが安心して、さらに安心だけではなく将来の希望を持ってどのように生活できるかというところで、教育がいかに大事か、また、私たちがどのような教育環境を整えてあげられるのかということも非常に重要だと感じました。今回の報告書の中で、小学校5年生と中学校2年生にアンケートをとった結果が出ておりましたが、学校の勉強が難しくなってしまうと分らなくなったということでもつまづいた時期で、多かったのは小学校3年生だということでした。小学校3～4年生くらいになりますと、学級運営がうまくいかなくなってくるところとか、また不登校がでてくるということが顕著に現れると言われておりますが、勉強のことにも通じていると思います。今回の「重点施策Ⅰ 子供の未来を応援する対策」の中で、ICT機器を子供たちに使ってもらって、授業がよく分かった。こういうことだったんだ。楽しい。と思ってもらえるような授業づくりができるよう、小学校のうちから取りこぼしのないような学習ができる環境を私たちが作ってあげられたらと常に強く思います。

また、新しくプログラミングの学習が始まります。プログラミングはもちろん、情報モラルのこともそうですけども、プログラミングシステムを組むにあたって必ずアルゴリズムというものを構築していきます。まず、どのような処理手順が必要なのかということをひとつひとつ洗い出して、組み立てていくのですが、子供たちがそういうことを学習すると自分の考えをきちんと整理できますし、相手がどのようなことを言っているのか考える力に繋

がるということもありますので、まずはいろんなインターネットの世界に関する情報や、自分の考えを整理する、相手に伝えるというためのプログラミングの教育で、先生方も研修を行っていただき、楽しく分かりやすい授業づくりに繋げていただけたらと考えております。

○高野区長

それでは次に、白倉委員にお願いいたします。

○白倉委員

昨年度末に議論した平成30年度の重点施策がすっきりとまとまって、区民、学校、子供たちに夢や希望を与える形になったと大変うれしく思います。緊急改善推進事業の、トイレ洋式化の施策が今年度で完了し、教育環境が明るく清潔に設備されることは、子供たちにとっても、衛生面からも大変素晴らしいことだと思います。

北川委員からお話がありましたが、今年度タブレットパソコンが大幅に増設されるということで、有効利用し、子供たちの情報分析活用能力を育み、変化が激しく速い社会で生き抜き、AIにも負けない実動力の基礎を築いてくれる施策をさらに充実・派生させていただきたいと思います。

また、教育の働き方改革が叫ばれているところですが、教員が学校経営に重きを置き、授業の準備に集中でき、子供たちと向き合い触れ合う時間の確保のために、スクールサポートスタッフや、授業づくり推進支援員、外部指導員の人員体制を確保するための施策には大変期待しております。1から7までの重点施策はどれをとっても素晴らしいものですが、絵に描いた餅にならないように、区長部局と教育委員会、関係機関が連携して力を合わせて取り組み、成果を上げていきたいと思います。

○高野区長

ありがとうございます。それでは藤原委員にお願いします。

○藤原委員

私は多様なニーズにこたえる特別支援教室の充実について大変関心を持っています。子供たち一人ひとり障害の状況は違います。ただ、事業概要をみますと、どんな子供に対しても多様な学びの場の整理、充実を図るという内容になっておりまして、新しい学習指導要領の中で強調されているものの一つが、この特別支援教育に関する項目です。そのようなことを踏まえて対策を立てられていることが非常に素晴らしいことだと思っています。こういった支援が必要な子供たちは、いじめられやすいし不登校になりやすいので、支援を充実させることがいじめを少なくすることにもなりますし、不登校の予防にもなると私は思っております。今後のあり方を検討するという文言も入っていますので、期待して進めていけたらいいなと思っております。

続きまして8ページに関連する、いじめの未然防止・不登校解消対策の推進ですが、全国

で13万人も不登校の子供がいるんですね。不登校の子供たちは傷つきやすいハートを持っていて、ちょっとした友達の発言でいじめられたりと感じたりですとか、あるいは他の子供が叱られているのを見るとその先生を怖いと思ったりとか、そういったことで学校に簡単に行けなくなるといった状況もあります。未然防止のために心理テストのハイパーQUを活用されていると思いますが、こういったことも、さらに学校現場で充実させ、活用を図っていければいいなと思います。また、教育センターで行っているゆずスマイル教室が、昨年とてもいい成果を上げたという教育センター所長から報告を受けました。こういった傷つきやすく学校にいけない、そして学校復帰が難しいという子供たちでも、ゆずスマイル教室で様々な豊かな体験が出来て、宿泊体験ができたり、高校進学に対する指導がちゃんと受けられるというのは、とても力強いサポートになっていると思います。親御さんにとっては、子供の不登校は進学の問題に直結しますので、高校に入れるのだろうか、どうなんだろうという不安の解消のためにも、また将来的に子供たちが自立していくためにも極めて重要だと受け止めており、この事業内容の施策をしっかりと進めていくことが大切だと思っています。

9ページの幼児教育の充実につきましては、教育と保育の一体的な提供ということが書かれており、とても重要だと思っています。働いているお父さんお母さんたちがとても心配されているのは、幼児教育の部分で質的にどうなんだろうか、例えば保育園に入りましたが、幼稚園と質的な違いがあるのではないかとといった不安があたりだと思うんですね。子供たちの脳は0歳の時からものすごい発達を遂げています。幼児教育というのは本当に大事で、幼児期に受けた教育で将来が決定づけられるかもしれないくらいすごく大事なところなんです。先日もTVで見ましたが、0歳の子供でも赤ちゃんでも、意地悪な行動をする者とやさしい行動をする者では、やさしい行動をする者の方へ共感的な態度を示すというデータが示されておりました。保育の需要が増大する中、保育の質の充実が求められているということが極めて重要だと思いますので、このような施策が充実していくことを願っています。

最後に教員の働き方改革についてですが、これは前回から新しく加わった内容です。沢山の施策が盛り込まれており、これが確実に実施されて、先生方が子供と向き合える時間ができることが大事だと思います。しかし、働き方改革でシステムがいくらできても、学校の中の人間関係や、先生と子供、先生と先生、管理職と先生方とのより良い関係づくり・コミュニケーションが取れて、気持ち良く働ける職場環境であるということがとても重要だと思います。良いシステムがあっても気持ちの部分で離れていたら良い教育ができないと思いますので、良い働き方改革が進められていくことを願っています。そしてこのようなことが社会に開かれて、学校も保護者も地域も協力して良い施策がぐんぐん進んで、豊島区はすごいと言われるよう、内実ともに充実していくことを願っています。

○高野区長

ありがとうございました。お一人おひとりの教育委員から教育大綱についてご意見を頂戴しました。それでは事務方よりご意見を申し上げます。

○教育センター所長

ただ今、藤原先生から不登校の子供たちの集団活動の適応を目指したゆずスマイル教室についてお話をいただき、大変励ましをもらったように思います。昨年度、初めて山中湖の秀山荘にて3泊4日という非常に長い期間、ゆずスマイル教室を実施いたしました。10名の子供が無事に朝早くからきちんとした生活習慣をすることができました。今年度につきましてはさらにバージョンアップを考えております。これから検討予定でございますが、山中湖という場所ではなく新たな場所を考えております。その地域の方の苦労や努力について触れて、地域の中で子供たちが役に立てる農業体験やボランティアの活動をするという新たな体験を増やしていきたいと思っています。愛されたい、認められたい、役に立ちたい、という3つの「したい」という気持ちを子供たちが満足して体験できる教育センターの取り組みを新たにバージョンアップしていきたいと思っています。不登校の子供たちは全国的に数が増えておりますが、そのような子供たちをさらに社会の中で育成できるように教育委員会、教育センター、指導課の皆で一緒になって対応して参りたいと思います。

○教育部長

教育委員の皆様から今年度の教育大綱の案についてご意見を頂戴しました。これまでも教育大綱は年々ローリングいたしまして、教育課題に向かって果敢に取り組んできたところでございますが、過分な評価とご指摘、注意すべき点をいただきまして、今年度の重点施策を更に進めて参りたいと考えてございます。幼児教育の充実、あるいは国際社会に生きる人材の育成諸々ございますが、今年は教職員の働き方改革を入れて目玉にしております。いづれにいたしましても、区長部局との連携を怠ることなく施策のブラッシュアップをはかりまして、子供たちの発達成長に少しでも寄与して参りたいと考えておりますので、引き続きのご指導ご鞭撻をお願いしたいと存じます。

○高野区長

それでは、今の話を受けて各委員より何かお考え等々ありましたらお願いします。

○樋口教育長職務代理者

区長部局と教育委員会が一体となって進めていくことが一番大事だと思いますので、頑張りましょう。先程は話題に上がりませんでしたが、子どもスキップにつきましても、保護者の方が大変期待しており、教育委員会への移管が実現され、とても喜んでいらっしゃいます。空間的にも学校等の共有スペース等を活用されたことで、今年度人数がさらに増え、なかなか難しい面もあろうかと思いますが、何名かのお母様からも、安全安心を第一にしていることや、内容を充実し、子供たち一人ひとりのことを見ようとしてくださっている点等への喜びの声を直接伺っております。教育委員会に移管することによってご苦労もあるかと思いますが、今後とも放課後生活の充実についてよろしく願いいたします。

○区長

昨年度末、日経デュアルという日経新聞に関係した調査機関の中で、「共働き子育てしやすいまち」の全国第一位のグランプリを頂戴し、表彰式に出席いたしました。全国から色々な方々が来ており、消滅可能性都市の豊島区がどうしたんでしょうねと言われるくらい非常に高い評価をいただきました。これはもちろん2年連続待機児童ゼロということもさることながら、今お話しいただきました全小学校での子どもスキップの実施や、夜7時までの実施ということに高い評価をいただきました。これらにつきましては大変ご苦労があるかと思しますので、高桑放課後対策課長よりご意見ををお願いします。

○放課後対策課長

ありがとうございます。子どもスキップが学校の中にあるということで安心安全という評価を頂いており、教育委員会に移管し学校との連携もさらに進んでいる状況です。先程樋口委員からお話がありましたが、スペースの確保についても以前より本当に協力的になったと聞いております。

また、現在苦労しているのは非常勤職員の確保の点でございます。SSサポーターという午前中は学校、午後はスキップで勤務いただくという、まさしく教育委員会に移管したからこそこの新しい非常勤制度を4月から創設しております。こちらは6月1日現在で4名確保できまして、おそらくこの制度を作っていなければここまで非常勤職員は確保できていなかったのではと思いますが、一層、学校と協力して充実させていきたいと思っております。

先程北川委員からもお話をいただきましたように、放課後子供教室についても親御さんからとても人気があります。さらにメニューを増やすなど、放課後の子供の過ごし方を充実させていきたいと思っております。

○区長

議会でも非常勤職員の配置に関し強い要望をいただきました。何としても今の状況を突破し全校に配置をお願いしたいのですがいかがでしょうか。

○放課後対策課長

いわゆる学童指導員という指導員はたくさんおりますが、それに比べるとSSサポーターは給料がだいぶ違っており、非常勤職員としては豊島区内でもかなり高額な部類です。SSサポーターの資格要件は、保育士・臨床心理士・看護師・教員免許の4つのうちどれかを持っていれば良く、あまり厳しいものではないのですが、採用面接の際は専門知識や経験を重視しております。他の指導員と給料の差もあり、あまりレベルを下げてしまうことは問題があると考えています。

○区長

大変そのあたりが難しく、誰でも良いというわけではなく、良い教育を行い、効果が上がるということが必要であると思っております。保護者に聞きますと、校内にあるというのが安心して預けられる理由であり、また校庭や体育館を活用し運動にも良いということ等、色々な面

で好評をいただいております。清和小のように隣接型の施設もいくつかあり、道路を渡る場合もあり、色々な難しい環境もありますが、非常に良い取組だと思います。

他に何かご意見はありますでしょうか。

○白倉委員

先程言い忘れていましたが、人生何が一番大切かというと、健康が第一だと思っています。この施策の中にも健康に関する教育の推進があり、がん教育では保護者向けの講演会を行い啓発するという記載があり、このような施策も是非進めていただきたいと思います。

また、元歯科医として、口腔衛生をしっかりされると健康寿命が延びるということもお話させていただきます。80歳で歯が20本という「8020」という取組を10年前から始めておりますが、最近では達成者が50%位います。これも健康寿命が伸びた原因になっており、このようなことも踏まえ施策の推進をよろしく願いいたします。

○区長

他に何かなければまとめとして教育長からご発言をお願いします。

○三田教育長

皆様どうもありがとうございました。冒頭に高野区長から、昨日の過密日程の中、富士見台小学校の蛍鑑賞会や、南池袋小学校の雑司ヶ谷地区のすすきみみずくの会の会合での子供たちの活躍を紹介していただきながら豊島の教育の一端を語っていただきまして、本当にありがとうございます。区長が冒頭申してくださったように、毎年毎年着実に子供たちのため、豊島区の進めている教育施策が前進しているなという実感を持っております。今日は委員の方々から出された重点施策7項目があるわけですが、それに沿って簡単にまとめながら私の意見も述べさせていただければと思います。

まず、重点施策1は子供の未来を応援するということです。子供は10年後20年後、今受けている教育がまさに試されるという時期を迎えることになるわけであります。ICT、情報教育、そして先程白倉委員からAIに負けない、そういう情報教育をしっかりやるんだというお話がありましたけど、そういう施策を展開しております。プログラミング教育もしっかりと位置づけて各学校で取組をはじめており、一層応援していきたいと思っております。

2番目にある子どもスキップ事業については、皆様から議論いただいたとおり、確実に変わった部分は何と言っても、スキップの所員もみんな教育委員会の一員だという共通理解がされてきたということです。また、場所をシェアリングして協力しながら使っていたり、安心して放課後の対応ができるようなカリキュラムの充実が図られてきたり、施設面でも、不十分なところにどんどん学校施設課と放課後対策課が共働で施設の改修にあたっており、計画的に取組を始めています。豊成小学校は独立したスキップ等をつくるというところまでいってございまして、本当に区長部局との連携があったからこそ、こういった形ができてきていると思います。先程お話に出ましたSSサポーターの件も、豊島区は新しい知恵を出して学校教育と放課後対策の両方で力を発揮していただける仕組みを作って、実際に応募し

てくる人が増えてきております。

特別支援教育についても藤原委員からご意見をいただきました。今年5月6月にかけて全校の小中学校および幼稚園3園の33小中学校園長と、一人1時間ほど時間を取り、延べ33時間じっくりと話をしました。特別支援教室を昨年度から実施し、巡回指導が順調にしているという側面と、学校によっては巡回指導の職員をもう少し有効に活用できないのかということと、中学校はこれから大丈夫なのかという課題も含めて話を聞きました。現在、小学校では95%が就学相談を受けて、特別支援教育を受け入れる方が増えてきており、かつては想像もできないほど理解が進んでいると思いますが、私は特別支援教育の中にこそ教育の全ての理論があると思っています。困っている子を、どうやってその子が困らないようにしてあげるか。みんなで協力して、知恵を出してあげられるか。これこそが教育なんですね。学校は必死になって子供が困っていることをどうするかという姿勢に変わってきており、今後も一層力を入れてやりたいと思います。とりわけ中学校の巡回指導がこれから始まりますので、そうした条件整備を進めていきたいと思っています。

重点施策2の健やかな心と体の育成というところですが、樋口委員から、ご専門の道徳について自分を見つめる授業をしっかりとやってほしいとご意見を頂戴いたしました。カッとして周りの人に危害を加える事件を起こしたという報告がされる度に、戦後の道徳教育はしっかりできていたのかということを感じざるを得ないです。自分の心のスケールをしっかりと持ち、自分は何なんだろうか、自分は今どうしたらよいのだろうか、きちんと考えられる人間を育てていくのが道徳の重要な役割だと思っています。

今年度は中学校の道徳の教科書の採択もあります。しっかりと力を入れて大きな柱にしてやっていきたいと思っています。心と体は表裏一体ですので、先程白倉委員からありましたように、がん教育や歯と口腔の衛生に関する教育、歯磨き、こうした取組についても徹底して参りたいと思います。

重点施策3の幼児教育の充実ですが、さっそく今年5月に私立・公立の幼稚園および保育園のみなさんに呼びかけて就学前教育プログラムの研修会をやりましたところ、69人にお集まりいただきました。指導主事に指導にあたってくださいましたが、研修会にそれだけ関心を持っていたということ、幼児期の教育をどう小学校に繋げたらいいか、みなさん課題意識をお持ちだということがよく分かりました。これがスタートで第一歩ですが、認定こども園の話もありますので、幼児教育の施策をまだまだたくさん力をいれてやっていきたいと思っています。

重点施策4の国際社会に生きる人材育成ですが、今回、東アジア文化都市のことも、オリンピック・パラリンピックと合わせて入れさせていただきました。現在全ての小中学校幼稚園に外国人の児童・生徒がおります。その中で文化の多様性を理解し合って協力し合ってやっている学校もありますが、まだまだここはうまくいっておりません。言葉の問題で困っている学校も先生方も子供たちもおります。ここを何とか突破していかなければならないと思っていますし、文化の多様性、国際社会を志向すればするほど多様な人との協働を考えていかなければならず、また教育の原点でもありますので、しっかりと力を入れてやっていきたいと思っています。

重点施策5の安全・安心の学校づくりでは、本日、富士見台小学校のインターナショナルセーフスクールについて発表を聞いたのですが、年々工夫を加えられ、レベルが上がっていると感じております。体操を始められて、自分の体づくりから安全を考えることに取り組んだり、先生が変わっても子供たちの自主活動がずっと続いていくような、セーフスクールがレガシーとして残っていくような取組が向上していると感じました。全校化は非常に重要ですし、区の施策であるセーフコミュニティと一体となってやっていくという意味でも、このような取組を区長部局と一層力を入れて、一体となってやっていきたいと思います。

次に学校改築の件です。今日は話題には出ませんでした、おかげさまで今年度でトイレの改修が全て終わります。そして巣鴨北中学校も順調に改築作業が進んでおりますし、今年は池袋第一小学校の基本設計が始まっており、全体的に学校のあり方・施設のあり方についても検討して参ります。

最後に教員の働き方改革ですが、これは大変重要なお指摘をいただきました。先生方が子供に向かい合える環境をつくり、新しい教育課程に先生方が全力で向き合えるようにすることが大事です。そうした観点から、時間をかけながらじっくり現場の声に耳を傾けて進めていきたいと考えております。

以上が施策全体の内容でございます。

もう一点なのですが、藤原委員から、小学校3年生のあたりから、いじめや不登校の問題が出てくるという話がありました。私は校長会でいつも、学校のエース級の先生は是非3年生に配置してもらいたいとお願いしています。今も昔も変わらず小学校3年生は大変難しい年代なんです。それはどうしてかという、第二の自立期で、通称ギャングエイジと言われるくらい扱いが難しく、反抗期なんです。だからそこを上手に超えさせてあげないといけないですし、そうすれば人間として一回りも二回りも大きくなるんですね。そこで生活指導や学級経営、道徳教育がどれだけ行き渡ってくるかが重要な点であり、これを解決しないと、いじめの問題も不登校の問題もなかなか簡単にはいかないのではないかと考えております。校長先生方ひとりひとりから不登校の事例について細かく聞き、全てのケースを教育センターと分析し対策を考えています。実質のある対策を、事務対策も含めしっかりやっただけでは、将来生きていく子供たちに大きな影響を与えることができないと思いますので、二極化に対し、両極に力を入れてやっていくということでもとめさせていただきたいと思えます。貴重なお時間ありがとうございました。

○高野区長

ただいま委員の皆様から貴重なご意見をいただき、最後のまとめとして教育長からお話がありました。それではこの平成30年度の豊島区教育大綱について決定をしたいと思いますがよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

○高野区長

異議なしという同意のご発言をいただきましたので、平成30年度豊島区教育大綱について決定をしたいと思います。ありがとうございました。

今後も区長部局と教育委員会が連携を深めながら、教育都市としまの実現に向け共に頑張って参りたいと思いますので、引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。

最後に私から、先程教育長からお話がありましたが、学校のトイレを今年度すべて洋式化するという思い切った選択をさせていただきました。

さらには待機児童ゼロを更新するという至難のことを達成しております。豊島区は空地も畑もなく、7割を超える保育園に園庭がありませんが、園庭を作っていくとなれば絶対に保育園の増設ができないという状況です。園庭の無い対策として、豊島区には小さな公園がたくさんありますが、それだけでなく、きれいな公園を作っていかなければなりません。そのまず一番は公園のトイレです。子供たちに愛され公園のトイレに好んで入ってもらえるよう、アートトイレの整備に向け大きく舵を切っており、来年一杯くらいには完成させたいと思っています。さらには、現在、公園のトイレの清掃は週に5回位ですが、少なくとも毎日2回位清掃ができるよう検討を進めております。公園の清掃だけではなく、公園そのものもきれいにしていけませんが、これには地域の力を借りなければなりません。公園整備・清掃を、できればシルバー人材センターの大きな仕事にできるよう今交渉しております。もちろん経費が掛かりますが、これは整備してかなければならないと思います。

加えて、全公園禁煙化の条例を通しました。これは今年の10月から施行いたします。かなり色々な議論がありまして、子供だけでいいのかという意見もありましたが、子供のために全公園を禁煙化し、出来る限り子供たちのための環境整備に力を入れていきたいと思っております。

学校改築についても、財政が厳しい中でも順次進めて参ります。ただ新しい学校を作ると、そこに生徒が集中してしまい大変だという話も聞いております。池袋第三小学校や池袋本町小学校は満杯で、やはり良い環境をつくりますと、それだけ子供たちも増えていきます。また、待機児童ゼロということで豊島区に移りたいという方が非常に多くなります。子供の教育については、住所を移してでも良い教育環境へ移りたいということがあり、良い教育をするとどんどん人口も増えていくかもしれませんが、それに対応できるようなまちづくりを今後も進めていきたいと思っております。現在、池袋第一小学校のプランニングを進めており、「森の中の学校」をつくるということを聞いています。宮本学校施設課長より一言決意表明をお願いいたします。

○学校施設課長

池袋第一小学校は、今年基本設計を進めておりますが、区長からもありましたようにテーマは「森の中の学校」ということでございます。隣が池袋本町小学校ということもございしますので、素晴らしい池袋本町小学校に負けないような魅力のある学校を作って参りたいと思っておりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

○高野区長

以上をもちまして豊島区教育大綱を決定させていただき、本年度第一回の豊島区総合教育会議を終了させていただきます。ありがとうございました。